

学びを生活に活かす

今日は家庭科の授業を参観しました。洗濯実験で汚れを落とす活動をとおして、衣類や洗剤の表示に着目しようという授業でした。この授業には面白い仕掛けがありました。それは様々な準備です。汚れは、「しょう油」と「カレー」の2種類、布は「体操服」と「制服」の2種類、そして洗剤も A、B の2種類が準備されていました。生徒はヒントとなる「衣服の表示」と「洗剤の容器に書かれた表示」をもとに結果を予想し、実験を行いました。各班、協力して実験をしていました。実験中は「もっと水を入れよう」とか「たくさん擦って」「すぐに汚れが取れ始めたあー!」といった様々な声が聞かれました。子ども達は熱心に、そして頭をフル回転させながら実験を行っていました。参観していた先生方も、「どうなるのかな?」とワクワクしながら授業を参観しました。

今日の参観授業をとおして、改めて思ったのは、「家庭科の授業は、生活していくうえで、非常に大事なことを学習している。入試の教科ではないけれど、しっかりと学習して、生活に活かせる」ということでした。また、「社会や理科など、様々な教科と関連性がある」と思いました。入試やテストのために勉強することも大事ですが、様々な知識を得て、生活を豊かにするための勉強も大事です。

☆ 家庭科授業の様子



※ おまけ

掃除を丁寧に行う素敵な太西  に出会いました！

「きれいにしよう」という気持ちがとても伝わってきました。

